

# 演奏会「ルターと音楽」

バッハ・コレギウム・ジャパン 音楽監督  
鈴木雅明



1990年(バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ))を創設して以来、バッハ演奏の世界的な第一人者として名声を博す。グループを率いて欧米の主要なホール、音楽祭に多く出演し、極めて高い評価を積み重ねている。ドイツ連邦共和国功労勲章功勞十字小勲章、バッハの演奏に貢献した世界的音楽家に贈られる「バッハ・メダル」、ロンドン王立音楽院・バッハ賞を受賞。2013年度第45回サントリー音楽賞、ドイツ・マインツ大学グーテンベルク教育賞ほか受賞多数。イエール大学アーティスト・イン・レジデンス、シンガポール大学ヨーン・シットウ音楽院客員教授、神戸松蔭女子学院大学客員教授、東京藝術大学名誉教授、オランダ改革派神学大学名誉博士。

フォーラムの締めくくりには、バッハ演奏の第一人者として世界的に有名な鈴木雅明先生が、自身の主宰するバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)を率いて演奏会を行った。「ルターと音楽」と題したこの演奏会では、ルターのコラール三つがとり上げられ、それぞれのコラールを用いた作品が作曲家の生年順に、鈴木先生の指揮のもと「オリジナル楽器」のアンサンブルと合唱によって演奏された。演奏会の冒頭と曲間には、ルターの宗教改革と音楽との関係を、鈴木先生が分かり

はせず、原形のまま用いた。やがて十六世紀末から十七世紀頃になると、コラール旋律の冒頭などが分断されてモティーフとして扱われ、対位的な作品に展開されていき、単語ごとの修辭学的な表現も発展する。

ルターは音楽に神学に次ぐ地位を与えた。音楽と神学が一体であるという考えは、ルターから二百年ほど後のバッハの時代にも生きていた。バッハは、ルターのコラールを用いた様々な作品を生み出している。なかでも重要なのはコラール・カンタータで、プログラムの最後に演奏する《カンタータ第四番》はその一例である。最初の合唱楽章では、ルターのコラールを原形のままソプラノが歌い、宗教改革時代の精神が受け継がれていることが見てとれる。それだけでなく、以後に発展したモテットやコンチェルトの精神が融合しているのも特徴である。十九世紀に入ると、バッハのように賛美歌をレパートリーの中心に据える作曲家は姿を消す。言うなれば、バッハはルターの伝統に直結した最後の作曲家である。

それでは、ルター自身の賛美歌からバッハの作品まで、賛美歌ばかりという特別なプログラムの演奏会をお聴きいただく。

やすく解説。聴講者は熱心に聞き入っていた。

## 〈講演概要〉

私がドイツ語と音楽の深い関わりを学んだのは、学生時代に読んだゲオルギア・デス著『音楽と言語』からである。この本では、ドイツ語のアクセント構造がラテン語とは異なるがゆえに、音楽の拍節と単語の意味が結びつき得たことが例を挙げて説明されており、それ以降、ドイツ語と音楽の関係が頭から離れなくなった。こういったドイツ語と音楽との関わりは、ルターによる宗教改革なしには成立せず、宗教改革はその後のヨーロッパ音楽史に深い影響を及ぼした。一五二六年にルターが制定した『ドイツ・ミサ』の式文の理解には音楽が不可欠であり、音楽と言葉がまさに一体化している。

ルターの始めた会衆賛美歌であるコラールは、宗教改革時代には、聖書に次ぐ位置を与えられ、天与のものと考えられた。そのため、コラールをとり入れた作品を作曲するにあたって、コラール旋律を勝手に装飾したり分断したりすることも

## 「ルターと音楽」演奏会プログラム

### 《私たちの神は堅い砦 Ein feste Burg ist unser Gott》

アグリコラ Martin Agricola (1486-1556)  
カルヴィシウス Sethus Calvisius (1556-1615)  
シャイン Johann Hermann Schein (1586-1630)  
トゥンダー Franz Tunder (1614-1667)

### 《高き天より Vom Himmel hoch, da komm ich her》

カルヴィシウス Sethus Calvisius (1556-1615)  
グンペルトツハイマー Adam Gumpelzhaimer (1559-1625)  
シャイン Johann Hermann Schein (1586-1630)  
J. G. ヴァルター Johann Gottfried Walther (1684-1748)

### 《キリストは死の縄目につかれた Christ lag in Todesbanden》

オジアンダー Lucas Osiander (1534-1604)  
ツァッハウ Friedrich Wilhelm Zachow (1663-1712) :  
《コラール「キリストは死の縄目につかれた」によるミサ曲  
Missa super chorale: Christ lag in Todes Banden》  
J. S. バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750) :  
《カンタータ第4番「キリストは死の縄目につかれた」》(BWV 4)